

《肥料の施肥例》

ピーマンは通気性の良い土地を好みます。堆肥や有機物(菜種粕など)をたっぷり鋤き込みましょう。また、なす科作物との連作は青枯病の原因になるので絶対に避けて下さい。

◎元肥 (1㎡当たり)

おいしい菜園 → 100g

他に…トヨクween(石灰) → 120g

吟遊詩人(バーク堆肥) → 3kg

苦土燐肥 → 50g …など

◎追肥 (1㎡当たりの1回の量)

おいしい菜園 → 20g

※1番果収穫後、約2週間おきに追肥

※1番果より下のわき芽は取ること



この肥料の特徴

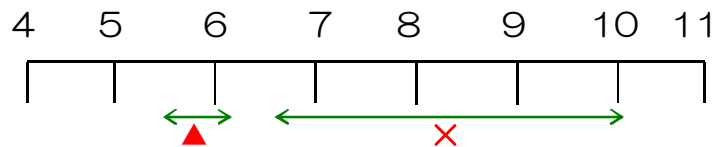
粟のような形状で水に溶いて液肥にもでき、土を荒らさない安心で安全な中性化成肥料。速効性だが元肥・追肥両方に使用できる。



▶特徴と栽培のポイント

ビタミン豊富で様々な調理法に適したピーマンは、夏の暑さに強く、初心者にも栽培しやすいのが特徴です。またパプリカは高温なほど良く色づきます。今年の夏は、ご家庭で採れたてのピーマンをぜひ夏バテ解消に役立ててみて下さい♪

▶栽培カレンダー ▲定植 ×収穫



地温が18℃以上になったら定植しますが、トマトと同様、元肥は控えめに…。一番花を早めに摘花するとその後の着果が良くなります。ただし、ピーマンは周期的に着果数がばらつく傾向があるので、少しでも株が疲れないうれれずに追肥をし、日が良く当たるよう枝を整理しましょう。又、夏場は日焼けや石灰不足(辛味が増します)、スリップス等の害虫にも注意が必要です。

《今注目の品種》

子供に大人気! 苦くない!



独特のピーマン臭が少なく、子供が苦手な苦味も少ないので食べやすい

《その他の人気品種》

●京ひかり (中果種)



夏秋採りで、栽培後期まで草勢が強く対病性に優れた品種。また低温時も果実の肥大が良く秀品率が高いので安定した収穫が望める。

●ワンダーベル (大果種)

肉厚があり、熟すと緑から赤に変色する大獅子ピーマン。赤くなるのを待ってパプリカのようにサラダで生食にするなど収穫時期を自由に調整できるのも◎。



●甘とう美人 (小果種)

ししとうタイプの細長い品種で15cm位まで生長する。食味が抜群に良く秀品率が高いので、家庭菜園や直売所向きの品種ともいえる。てんぷらが美味。